

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第34週の発生動向

□今週のトピックス

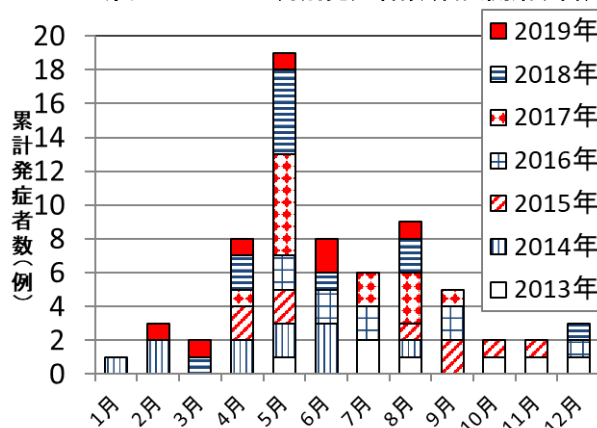
・重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

（全数報告の感染症）の報告が延岡保健所管内から1例あった。患者は60歳代の男性で、ダニの刺し口があった。県内での報告は今年7例目で、累計68例（平成25年3月届出開始以降）となった。

県内のSFTS 年齢別報告数（届出開始以降）

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	3	18	22	16	5

県内のSFTS月別発症者数（届出開始以降）



□ 全数報告の感染症（34週までに新たに届出のあったもの）

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：A型肝炎1例、重症熱性血小板減少症候群1例。
- 5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例、百日咳8例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	都城	50歳代	女	肺結核	発熱、胸痛
		延岡	70歳代	男	疑似症患者	咳、痰、体重減少
4類	A型肝炎	宮崎市	70歳代	男	—	全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝機能異常
	重症熱性血小板減少症候群	延岡	60歳代	男	—	発熱、下痢、全身倦怠感、血小板・白血球減少、リンパ節腫脹等
5類	百日咳	宮崎市	10歳代	男	—	尿路感染症、敗血症
			0~4歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、スタックート、ウーブ、嘔吐等
			5~9歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
		高鍋	0~4歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			10歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
		日向	5~9歳	男	—	持続する咳
			5~9歳	男	—	持続する咳、スタックート、嘔吐
			5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は646人(定点当たり20.2)で、前週比112%と増加した。なお、前週に比べ増加した疾患は感染性胃腸炎とヘルパンギーナで、減少した主な疾患は水痘であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

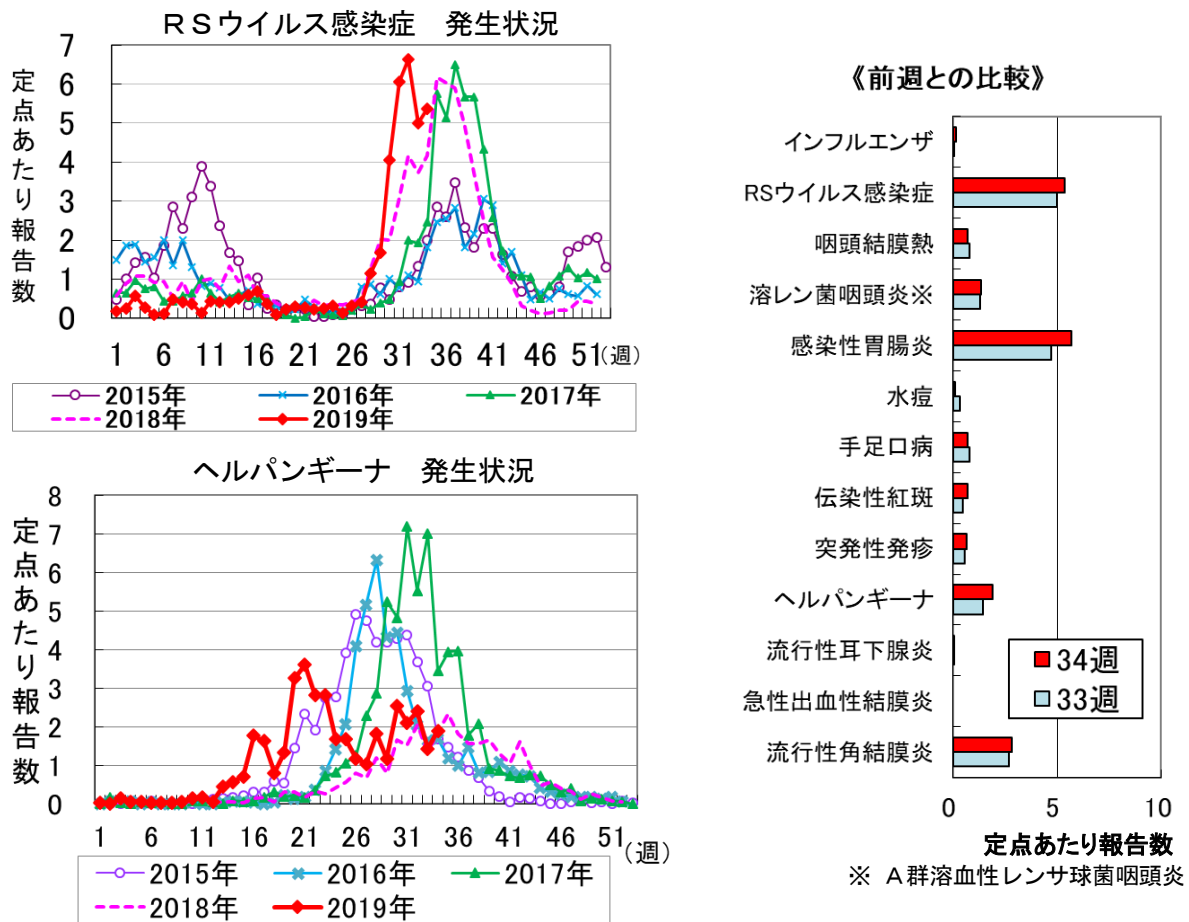
【RSウイルス感染症】

報告数は193人(5.4)で、前週比107%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(2.4)の約2.2倍である。中央(12.0)、延岡(9.3)、高鍋(8.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では1歳以下が全体の約7割を占めた。

【ヘルパンギーナ】

報告数は68人(1.9)で、前週比132%と増加したが、例年同時期の定点当たり平均値*(2.2)の約0.9倍である。延岡(4.8)、高鍋、日向(各2.3)保健所からの報告が多く、年齢群別では1～2歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★ なし。

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 令和元年8月26日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Aberdeen(O11:i:1,2)	0～4歳	男	2019.07.27	発熱(38.0℃)、胃腸炎(水様性下痢)	便	2019.08.06
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0～4歳	男	2019.07.02	百日咳疑い、発熱(36.8度)、連続性咳嗽、チアノーゼ	鼻咽頭ぬぐい液	2019.08.20
EPEC(O128:H20)	40歳代	女	2019.07.14	無症状	便	2019.07.12
EPEC(OJ:H7)	60歳代	女	2019.07.05	無症状	便	2019.08.15
EPEC(O128:H2)	0～4歳	男	2019.07.05	無症状	便	2019.07.18
EPEC(O8:H51)	20歳代	女	2019.07.06	無症状	便	2019.07.18
EPEC(O145:H16)	20歳代	女	2019.07.06	無症状	便	2019.07.31

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
パラインフルエンザ3型	0～4歳	女	2019.06.06	肺炎、喘息性気管支炎、40.0℃、下気道炎	喀痰	2019.08.20
パラインフルエンザ3型	0～4歳	男	2019.06.07	気管支肺炎、40.0℃、上気道炎、下気道炎、胃腸炎	咽頭ぬぐい液	2019.08.20
パラインフルエンザ3型	0～4歳	女	2019.06.18	急性気管支炎、40.0℃、下気道炎	鼻汁	2019.08.20
ヒトヘルペスウイルス6	0～4歳	男	2019.06.11	38.0℃、上気道炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2019.08.16
コクサッキーウイルスB5型	0～4歳	男	2019.06.28	ウイルス性髄膜炎、38.1℃	便 咽頭ぬぐい液 髄液	2019.08.22
コクサッキーウイルスB5型	0～4歳	男	2019.07.04	髄膜炎、39.2℃	便 咽頭ぬぐい液 髄液	2019.08.23
ライノウイルス	0～4歳	男	2019.07.07	上気道炎	鼻汁	2019.08.16
デングウイルス (遺伝子型 3型)	20歳代	女	2019.08.09	40.0℃、発疹(紅斑)	血清 血漿	2019.08.13

○髄膜炎を呈する乳児2名から、コクサッキーウイルスB5型(CB5)が分離された。無菌性髄膜炎の罹患年齢は、幼児及び学童期が中心であるが、CB5による無菌性髄膜炎は、0歳をピークに低年齢に多いとされている。無菌性髄膜炎は、通常、夏から秋にかけ患者の増加が見られるため、今後の動向に注意が必要である。

🇯🇵 全国 2019 年第 33 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 33 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	273 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	154 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	6 例	回帰熱	1 例
	チクングニア熱	3 例	デング熱	24 例	日本紅斑熱	5 例
	レジオネラ症	40 例	レプトスピラ症	1 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	2 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	24 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	6 例	クリプトスポリジウム症	2 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6 例	後天性免疫不全症候群	9 例
	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10 例	侵襲性肺炎球菌感染症	18 例
	水痘(入院例)	3 例	梅毒	48 例	破傷風	5 例
	百日咳	149 例	風しん	25 例	麻疹	2 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 58%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナである。

R S ウイルス感染症の報告数は 3,974 人(1.3)で前週比 79%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.83)の約 1.6 倍である。宮崎県(5.0)、長崎県(3.1)、山形県(2.9)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳以下が全体の約 8 割を占めている。

手足口病の報告数は 9,147 人(3.0)で前週比 44%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(3.1)と同程度である。秋田県(8.7)、長野県(8.2)、北海道(8.1)からの報告が多く、年齢群別では 1～2 歳が全体の約半数を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週後週(計 15 週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2019年 第34週(08月19日～08月25日)

疾病名		第33週	第34週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	4	9					8			1	
	定点当り	0.07	0.15	0.00	0.00	0.00	0.00	1.60	0.00	0.00	0.17	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	175	193	36	36	37	15	1	32	3	21	12
	定点当り	5.00	5.36	3.60	6.00	9.25	5.00	0.33	8.00	3.00	5.25	12.00
咽頭結膜熱	報告数	27	26	5	3	2	7	1	7		1	
	定点当り	0.77	0.72	0.50	0.50	0.50	2.33	0.33	1.75	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	45	49	20	7	6	7				5	4
	定点当り	1.29	1.36	2.00	1.17	1.50	2.33	0.00	0.00	0.00	1.25	4.00
感染性胃腸炎	報告数	165	205	42	40	6	33	32	19	4	17	12
	定点当り	4.71	5.69	4.20	6.67	1.50	11.00	10.67	4.75	4.00	4.25	12.00
水痘	報告数	11	3	1		1	1					
	定点当り	0.31	0.08	0.10	0.00	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	27	26	6	5	1	3	2			9	
	定点当り	0.77	0.72	0.60	0.83	0.25	1.00	0.67	0.00	0.00	2.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	16	25	7	11	3	1		1		2	
	定点当り	0.46	0.69	0.70	1.83	0.75	0.33	0.00	0.25	0.00	0.50	0.00
突発性発しん	報告数	19	24	5	5	4	2	1	2		4	1
	定点当り	0.54	0.67	0.50	0.83	1.00	0.67	0.33	0.50	0.00	1.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	50	68	17	10	19	1	2	9		9	1
	定点当り	1.43	1.89	1.70	1.67	4.75	0.33	0.67	2.25	0.00	2.25	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	1						1			
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	16	17	11	3	3						
	定点当り	2.67	2.83	3.67	1.50	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～34週)

2類感染症	結核	144例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	33例		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例(1)
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	3例
	日本紅斑熱	4例	レジオネラ症	6例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	3例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	4例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9例	後天性免疫不全症候群	1例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	14例
	破傷風	1例	百日咳	199例(8)
	麻しん	1例	重症熱性血小板減少症候群	7例(1)
			デング熱	2例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	10例(1)
			クリプトスポリジウム症	1例
			侵襲性肺炎球菌感染症	9例
			播種性クリプトコックス症	1例
			風しん	1例

()内は今週届出分、再掲